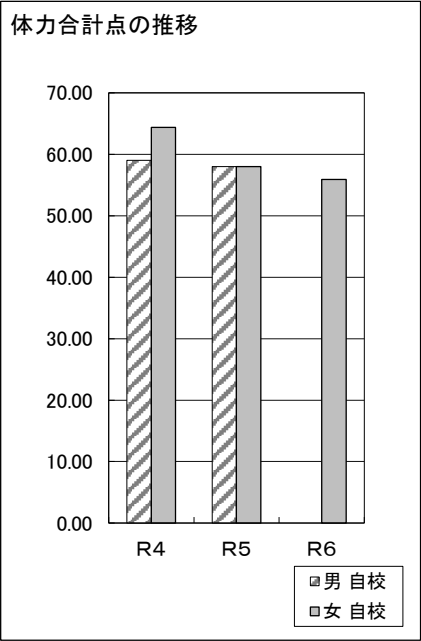
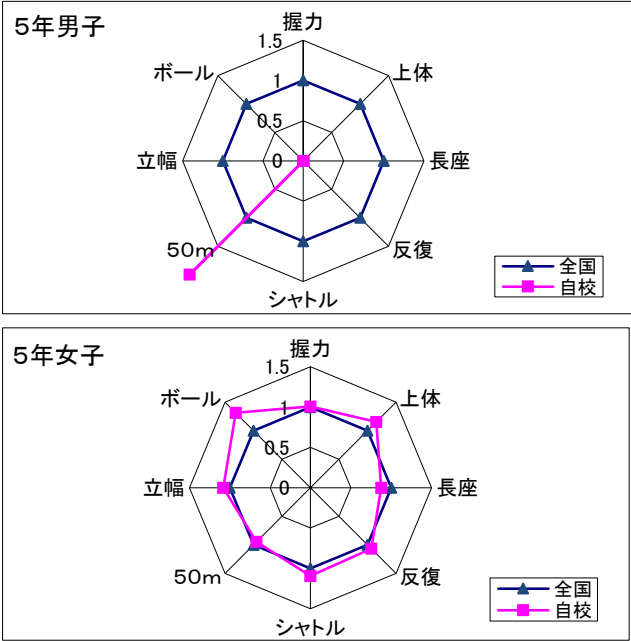


学校名	小30 倉橋小学校
-----	-----------

1 自校の実技結果と全国平均との比較

学年	性別		R6平均値								体力合計点		
			握力 (kg)	上体 (回)	長座 (cm)	反復 (点)	シャトル (回)	50m (秒)	立幅 (cm)	ボール (m)	R4	R5	R6
5年	男	全国	16.02	19.19	33.79	40.67	46.90	9.50	150.46	20.74	52.29	52.60	52.53
		自校									59.00	58.00	
		比較									○	○	
	女	全国	15.78	18.16	38.21	38.71	36.60	9.76	143.18	13.15	54.32	54.29	53.92
		自校	15.91	20.91	33.45	41.27	40.00	10.29	154.82	17.27	64.40	58.00	55.91
		比較	○	○	△	○	○	△	○	○	○	○	○

※全国平均以上の種目…○ 全国平均未満の種目…△



2 重点種目の結果についての分析

呉市の重点種目	中学校区の重点種目 ※義務教育学校は、自校の重点種目	自校の重点種目 ※義務教育学校は、前期課程の重点種目
50m走	20mシャトルラン	反復横とび
〈成果と課題〉 ・体育の準備運動に、もも上げの運動を取り入れるとともに、外遊びでは、遊びながら走力を鍛えられる「鬼ごっこ」を奨励してきた。全校で春、秋と2回記録をとり、C判定以上となった児童の割合は61%から68%に増えた。しかし、まだ3割の児童がC判定に達していない。取組を再検討する必要がある。	〈成果と課題〉 ・長距離を走るためのこつを指導するとともに、学校行事の中に持久走記録会を計画し、業間体育や体育の授業において練習を重ねてきた。全校で、C判定以上となった児童の割合は81%と高い数値となった。来年度も継続して取組を進める。	〈成果と課題〉 ・体育の授業や外遊びでは、急にダッシュをしたり、向きを変えたりして敏捷性を養うことのできる「鬼ごっこ」を奨励してきた。全校で、C判定以上となった児童の割合は90%と高い数値となった。来年度も継続して取組を進める。

3 児童質問紙調査の結果及び分析

運動やスポーツをすることが好きな児童の割合			朝食を毎日食べる児童の割合			1週間の総運動時間が60分以上の児童の割合		
男子	全国	93.3	男子	全国	81.3	男子	全国	90.8
	自校			自校			自校	
女子	全国	86.2	女子	全国	79.5	女子	全国	84.0
	自校	72.7		自校	63.6		自校	90.9
〈成果と課題〉 ・昨年度同様、全国平均より低い割合となっている。外遊びを好む児童は多いが、運動の基本となる走る、投げるといった技能面で苦手意識をもっている児童が多いと考えられる。楽しみながら走る、投げる技能を高める取組を進めていく必要がある。			〈成果と課題〉 ・全国平均より低い割合となったが、「食べない日もある」と回答した児童を合わせると、100%となり、全く食べていない児童はいないということがわかった。就寝・起床時刻と関連させ、基本的な生活習慣の大切さを保護者と児童に啓発していく必要がある。			〈成果と課題〉 ・全国平均より高い割合となった。小規模校で、地域に帰っても遊び相手がおらず、外での遊びが減っている分、学校生活の中で外遊びを十分楽しんでいる。運動好きの児童が増えるよう、運動の楽しさが味わえる外遊び等を紹介していく。		